

第4学年 6月 単元名「カクカクワールド探検」(11時間)

1 単元の目標

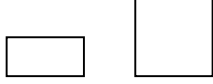

- 長方形や正方形の面積を表すことに関心を持ち、長方形や正方形の求積公式を利用して、身の周りにあるものの面積を求めようとする。
- 長方形や正方形の求積の仕方を考えることができるとともに、工夫して面積を求めることができる。
- 求積公式を用いて、いろいろな長方形や正方形の面積を適切な単位を選んで求めることができる。
- 面積の概念を知り、面積の単位 cm^2 , m^2 , km^2 が分かる。また、長方形や正方形の求積公式を理解する。

2 単元の指導計画

時	学 習 内 容	時間	学習形態
第一次	広さ比べをして面積の単位や概念を知る。	3	グループ全体
第二次	面積を求める。	3	少人数
第三次	大きな面積の単位を知り、求積する。	3	全体
まとめ	復習をする。	2	少人数

3 単元構成

時間	ねらい	学習活動	算数的活動	交流の場	教材
1	とった陣の広さ比べをする際に、これまでの学習経験から直接重ねて比べることができる。 キーワード 重ねて比べる	新聞紙の記事を使って陣取りゲームを行い、広さの比べ方を考える。 約束:記事は一まとまりで端から陣を取る。続きで陣取る。	じゃんけんで勝った子から新聞紙の中の記事のまとまりをとり広さ比べをする。	2人ならできるけどみんなと比べると難しい。何か方法を考え出そう。	新聞紙
2	重ねられない物の広さを比べるときには基になる大きさを比べるとよいことに気付く。 キーワード 広さは基になる大きさの何個分で比べられる	班毎に12メートルの紐を使って陣取りゲームを行い、広さの比べ方を考える。	12メートルの紐で作った長方形の広さを各班で競う。新聞紙など基になる広さの物を決めて測る。	重ねられないときは、重さの時のように基になるもの(任意単位)で測るとよい。数量で表すと比べやすい。面積は周りの長さに関係ない。	12mの紐 新聞紙など
3 (本時)	基になる単位で測ると、広さが数字で表されて広さ比べが簡単にできることが分かる。 面積は、 1cm^2 のいくつ分で表せることが分かる。 キーワード 面積は 1cm^2 の何個分で表せる	さいころの目によって異なる広さを取っていくジャンケン陣取りゲームを行い、基になる小さいシールを(1 cm^2 , 2 cm^2 など)を隙間なく敷き詰めて広さ比べを行う。	さいころの目によって異なる大きさのシールを貼っていくジャンケン陣取りゲームを行い、広さチャンピオンを捜す。 あのみ・・・16 cm^2 いのみ・・・12 うのみ・・・10 えのみ・・・4 おのみ・・・2 かのみ・・・1	2 cm^2 だと表しにくい広さがあることから、基にするのは、1 cm^2 がよい。複雑な形の広さでも1 cm^2 のいくつ分で表すことで、クラス全員の面積が比べられる。1 cm のよさ 正方形のよさ	方眼 サイコロ いろいろな大きさの陣地(シール) 広さ比べをするシール p60

4 5	<p>長方形や正方形の面積は、各々たて×横、一辺×一辺で求められることが分かる。</p> <p>公式を利用して問題を解くことができる。</p> <p>キーワード 面積を求める公式は 長方形の面積=たて×横 正方形の面積=一辺×一辺</p>	<p>㊦、㊧の長方形正方形の面積を求め、公式作りをする。</p>	<p>面積を求める。</p> 	<p>面積は、1 c m²がいくつか敷き詰められるかで分かる。たてと横のいくつ分かで、掛け算で面積を求めることができる。</p>	<p>教科書 p 6 2 p 6 3</p>
6	<p>L字型の図形の面積を求めるには、切ったり付け足したりして長方形の面積の公式で求積できることが分かり、正しく面積を求めることができる。</p> <p>キーワード 長方形の面積を基にする とどんな形の面積も求まる</p>	<p>L字型の図形の面積を、切ったり付け足したりして、必要な辺の長さを測って、面積を求める。</p>	 <p>2つの長方形に分割して求積する。大きな長方形を考え、そこから小さな長方形を引く。</p>	<p>3つの方法でできる子、1つの方法でできた子が互いに発表し合う。</p>	<p>習熟度別 少人数で p 6 7</p>
7 8	<p>教室や体育館など大きな面積を求めるためには1 c m²より大きな単位が必要であることに気付き、1 m²の単位を知る。</p> <p>キーワード 一辺が1mの面積の単位は1 m²で、大きな面積を表せる</p>	<p>教室や体育館など大きい面積を求める。また、1 c m²と1 m²の関係を知る。 1 m²を新聞紙で作り量感をつかむ。</p>	<p>教室と体育館の面積を見積もったり、1 m²を敷き詰めたり、たてと横の長さを測ったりして、面積を求める。</p>	<p>自分たちの班で測った教室や体育館の面積を発表し合い、広さ感覚を豊かにする。</p>	<p>巻尺 1 m²の広さの量感 p 6 4 p 6 5</p>
9	<p>田や町の面積を求めるためにはもっと大きな単位が必要で、km²が使えることを知る。</p> <p>キーワード 一辺が1 k mの面積の単位は1 k m²で、 1 k m²=1000000m²</p>	<p>大きな面積の単位を知り、1 m²と1 k m²の関係を考える。</p>	<p>田や町の実際のたて横の長さを測り、面積を求める。</p>	<p>それぞれの単位が使われている場面を話し合い、1 k m²のよさを知る。</p>	<p>琴平町の地図 p 6 6</p>
10	<p>練習をする。</p>	<p>長さを測って面積を求めたり、身の回りのものの面積を見積もったり、適切な単位を選択したりする。</p>	<p>公式に当てはめて面積を求める。</p>		<p>p 6 8</p>
11	<p>算数のまど</p>	<p>面積が○ c m²の形を作る。</p>	<p>決めた大きさの形を作ったり、方眼の数を数えて面積を求めたりする。</p>	<p>面積が1 c m²の形は正方形以外にもある。方眼に2 c m²の形を作って友だちと発表し合う。</p>	<p>p 6 9</p>